

【山形県】土地改良を契機とした農村地域の振興事例集

市町村	地区名等	タイトル	頁	発行月	Vol.
高畠町	小其塚	法人による規模拡大と水田での「啓翁桜」栽培の導入	1	H29.08	3
鶴岡市	西郷北部	基盤整備を契機とした法人設立と高収益作物で所得向上へ	2	R3.03	7
尾花沢市	鶴沢ため池	ため池の防災工事により下流の被害を防止	3	R4.03	8
村山市	西郷名取	施設管理の省力化による高収益作物の導入と高付加価値化	4	R6.03	10

【工夫のポイント】

- **基盤整備を契機に農業法人を設立**。大区画ほ場に適した大型機械を導入するとともに**湛水直播の導入により労働力を軽減**。
- 周年農業に向け、**汎用化した水田で啓翁桜を導入**。冬場の所得を確保し、後継者の確保を図る。
- **インターネットによる直接販売**を通じて、販路を全国へ拡大。

大区画化・汎用化による労力軽減と高収益作物導入

区画整理、用排水路、農道等の整備により、大型機械を導入し**生産コストの低減**を図るとともに、湿田の汎用化により**高収益作物導入を実現**。

基盤



基盤整備
(H14年～H19年)

【整備前】

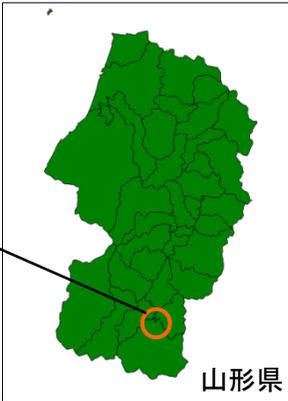
農地は**5a区画で狭小**(戦中戦後の耕地整理時代に整備)であり、**水路は素掘の用排兼用**であった。また、**農道は軽トラックも入れない状態**で、機械化への対応が遅れ耕作放棄地の発生が懸念された。



【取組地域の概要】

○位置 たかはたまち
山形県 高島町

おそのづか
小其塚地区



山形県

- 主要作物
・水稲、大豆、啓翁桜(けいおうざくら)
- 主な支援施策
・県営経営体育成基盤整備事業 (H14～H19)
・強い農業づくり交付金(H18)
・多面的機能支払交付金 (H19～)

水稲の直播導入や新規作物の導入

生産現場



- 大型機械化や**水稲直播の導入**により労働時間を短縮、経営規模を拡大。
- 水稲と大豆主体の経営から、**経営安定化や雇用創出を目指し、新たに啓翁桜(町の特産品であり、冬場の観賞・贈答用として人気)を導入し、冬場の所得を確保**。

インターネットによって販路を全国へ

流通



- 米と啓翁桜は**インターネット販売による直接販売を実施**。米は特別栽培による**ブランド化**を図り、販路を拡大。

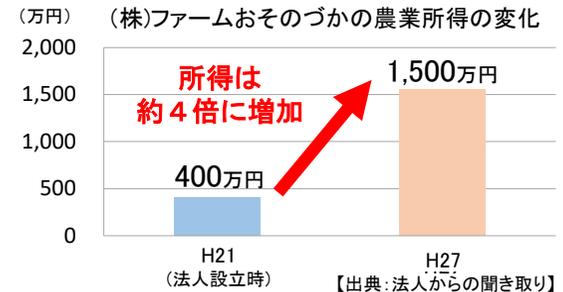
ほ場整備事業を契機とした法人設立

担い手

- ほ場整備事業を契機として、**集落内で今後の農業の再編に向けた集落ビジョンを検討**。その結果、地区内の農業者からなる集落営農組合の設立を経て、**農業法人((株)ファームおそのづか)を設立(H21)**。

基盤整備を契機に設立された法人が地域の農業を牽引

- 大型機械の導入等によって**米や大豆の生産コストを削減**するとともに、**汎用化した水田で啓翁桜の栽培を導入**。
- 地区内の農業法人((株)ファームおそのづか)は、**事業完了後も農地の集約化を進め**、経営規模を拡大。設立以降、所得を伸ばし続けており、地域の農業を牽引する担い手となっている。



【工夫のポイント】

- 基盤整備を契機に、既存の1農事組合法人を含め**4つの法人に9割の農地を集積・集約**。
- 地区の**9割以上を1ha程度の大区画に整備**するとともに、水稲の直播を拡大。
- 稲作での労働時間低減により、隣接している庄内砂丘畑において、**メロン栽培等の労働力を確保**でき、**品質と所得が向上**。

【取組地域の概要】

○位置 つるおかし
山形県鶴岡市(過疎)

山形県

にしごうほくぶ
西郷北部地区



- 主要作物
・水稲、大豆、メロン、ミニトマト等
- 主な支援施策
・県営農地整備事業(経営体育成型)
(H21~R元)

基盤

大区画化による営農作業の効率化

ほ場を大区画化し、用排水路をパイプライン化したことで、**大型農機が導入可能**となり、**労力が大幅に低減**したことから、農業生産性の向上及び高収益作物の収益力向上を実現。



基盤整備
(H21年~R元年)

【整備前】

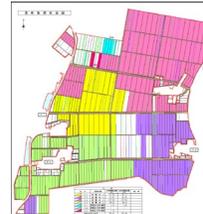
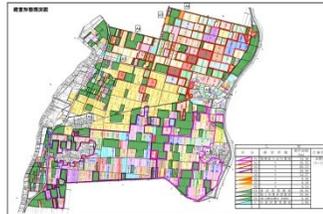
10a程度の**小さな区画で農道は狭く、暗渠排水も整備されていない**ため、**効率的な農作業の支障**となっていた。



地域の取組

基盤整備を契機とした法人の設立

- 地区内の集落営農組織で話し合いを重ね、農地中間管理機構を活用し、**4つの農事組合法人に農地の85%を集積・集約**。



法人同士のネットワークによる生産コストの削減

- **法人同士によるネットワークを構築**し、情報の共有や肥料等の大口購入により**資材費等のコストを削減**。

生産現場

稲作労働時間の削減でメロンの品質向上

- 稲作での労働時間削減により生み出した労働力を**高収益作物であるメロンの栽培へシフト**。



メロン栽培状況

基盤整備を契機として収益力の向上

【生産性の向上】

- 大区画化・集約化、用排水のパイプライン化により、**労働時間の削減**を実現。

【高収益作物の栽培拡大】

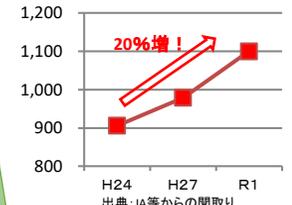
- 基盤整備による区画拡大等で労働時間が低減し、**生み出した労働力を活用**して、メロン等の**高収益作物を栽培**。

西郷北部地区の稲作労働時間の推移



出典: H27山形県庄内総合支庁農村計画課調べ

メロン販売額 (JA鶴岡西郷地区)



労働力をシフト

農家Aさんの所得推移



出典: JA等からの聞き取り

【対策のポイント】

- 鶴沢ため池は、貯水量が15万8千 m^3 と大きく、下流に多数の住宅が存在するため、決壊時に大きな被害のおそれ。
- このため、3か年緊急対策において、洪水吐の整備と堤体の改修工事を実施。
- ため池の防災工事を完了していたことで、令和2年7月の大雨における被害を回避。

【取組地域の概要】

○位置 おばなざわし
山形県尾花沢市

山形県



つるさわ
鶴沢ため池

- 主要作物
・水稲

事業名	事業費	対策期間
農村地域防災減災事業	6億9,200万円	H26～R3
うち3か年緊急対策	2億5,500万円	H30～R2

ため池の防災工事を実施

- 3か年緊急対策において、洪水吐の流下能力の向上と堤体の改修工事を実施。

対策前



防災工事

(H26～R3)

対策後



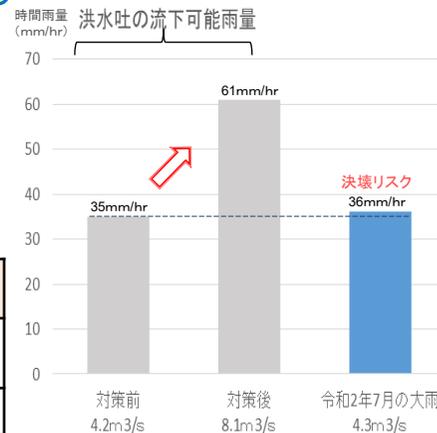
ため池諸元
・堤高14.9m
・堤長93.0m
・貯水量158千 m^3

堤体の決壊を防止し、下流の被害を回避

- 令和2年7月の大雨では時間雨量36.0mmを観測。
- 従前では溢水のおそれがあったが、防災工事を完了していたことで洪水が安全に流下。
- 堤体の決壊が防止され、下流の農地や住宅への被害を回避。

想定される被害

	想定被害額	影響を受ける住宅
対策前 (決壊した場合)	約49億円	65戸
対策後	被害なし	被害なし



基盤

対策の効果

【工夫のポイント】

- 基盤整備に合わせた水利再編により**3つの揚水機場を1つに集約**。
- 用排水施設のパイプライン化より**水管理作業の省力化**を実現。
- 水管理作業の省力化が図られたことで農地集積が進むとともに、**高収益作物の団地化**により水田農業の**高付加価値化**を実現。

基盤整備

水利再編による水管理作業の省力化と高収益作物の団地化

- 水田区域と**高収益作物栽培エリア**を分離(団地化)。
- 3つの揚水機場を1つに集約するとともに、用排水施設のパイプライン化等により**水管理を省力化**。

揚水機場の集約



水田区域と高収益作物団地の分離



基盤整備

(H23年～R4年)

【整備前】

ほ場が**小区画で不整形**であり、作業負担が大きい。
また、ほ場が点在しているため、**配水システムが非効率**。



整備前の農地 (標準0.1ha)
(小区画で不整形なほ場、田畑分散)

【取組地域の概要】

○位置 むらやまし
山形県村山市

山形県



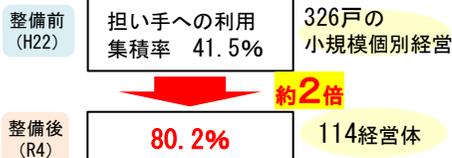
にしごうなとり
西郷名取地区

- 主要作物
・水稲、すいか、にんじん、きゅうり
- 主な支援施策
・農業競争力強化農地整備事業
西郷名取地区 (H23～R4)
・多面的機能支払交付金
西郷地域広域保全会 (H26～)

担い手

経営体の集積

- 事業を契機として、326戸の個別経営から、**114の経営体に集積**され営農の効率化が実現。



省力化技術の導入

- 担い手を中心として、直播栽培、GPS機能付きの乗用田植え機、ラジコンヘリによる直播作業の実施。

直播栽培 (鉄コーティング)



ラジコンヘリ



農作業労働時間の削減

- 用排水施設のパイプライン化により農道沿いに給水栓等を配置したことで**水管理作業の省力化**が図られ、**労働時間が削減**。

(完了フォローアップアンケート調査より)



余剰時間を活用した高収益作物の栽培と高付加価値化の実現

- 作業の省力化により、余剰時間を活用した**高収益作物の増産**や**法人**による**新規作物の導入**などが可能となった。

高収益作物の増産



法人による高収益作物の栽培

